

平成23年度 企業間等連携支援事業（Aタイプ） INS「海と社会」研究会久慈支部（岩手県）



「久慈地域企業群の有機的連携強化研究会」

【事業目的】

これまで、年に1～2回の講演会及び交流会を開催し、企業や団体間の壁を越えたネットワーク形成を行ってきたが、東日本大震災を契機に、単なるネットワーク形成から、互いの経営資源等を共有できる体制を作り上げ、具体的に地域雇用の課題解決へ動きださなければならないと感じた。

そこで「久慈地域企業群の有機的連携強化」事業により、産学官連携といった既存の枠組みを超えた連携体の成功例を先例として学習し、互いが持つ経営資源等を共有した事業展開の可能性を探ることを目的とした研究会を開催する。

【事業実施状況】

平成23年11月10日（木）15：00～20：00

- ・講演会（参加者約50名）
「大震災の復興計画について思う」
JSTイノベーション岩手 館長 平山健一氏
「企業間の事業と自社の紹介」
（株）日向中島鉄工所 代表取締役社長 島原俊秀氏
「我社の産学官連携事例」
（株）三栄機械 代表取締役社長 齊藤民一氏
「各地での産学官連携の動き」
岩手大学工学部 応用化学・生命工学科
教授 清水健司氏
- ・勉強会・意見交換会（参加者約50名）
「久慈地域内企業における連携強化について」
- ・交流会（参加者約30名）

【成果・今後予想される事業効果】

産学官連携により地域貢献をしている企業経営者や研究者を招聘して、業種の枠を超えた連携による地域貢献の事例を勉強することが出来た。勉強会では、地元企業経営者から、震災後の企業間連携について、業種の垣根を越えた連携と互いの経営資源の共有化により難局を乗り越えた事例の発表があり、講師陣からは、人材育成を含めた長期的視野によるネットワークの強化を図る旨の提言があり、参加者は改めて企業間連携の重要性を認識した。

今後、工場見学等により企業間連携について勉強する予定である。また、来年度以降もこのような事業を継続し企業間連携の強化と久慈地域の雇用促進に繋げていきたい。